

---

# 第1章 岡山県教育委員会・岡山市教育委員会等との合同による 連携協力事業

---

## 第1節 教員の資質向上に寄与する「大学と学校・教育委員会の協働の実現」 事業

### 第1項 オンデマンド研修事業

---

#### 1 はじめに

岡山大学教育学部と教師教育開発センターは、平成23年度より5年間にわたって「教員の資質向上に寄与する『大学と学校・教育委員会の協働』の実現—学校教育改善との連動で教員養成教育を進化させる—」というプロジェクト（略称「先進的教員養成プロジェクト」）に取り組む。この事業の1つとして、大学と学校・教育委員会が協働し、学生が学校において継続的にインターンシップ的な実習に取り組むことで教育実践力を高める教員養成教育の改善と、学校・教育委員会の求める研究・研修に教育学部教員が貢献することで学校教育の充実・発展に貢献するオンデマンド研修とを結びつけて実施する事業に取り組む。

学部の担当教員は、住野好久、東條光彦、川田 力、熊谷愼之輔、金川舞貴子、上村弘子、センターの担当教員は、高旗浩志、稲田修一、三島知剛、近藤弘行、後藤大輔、以上11名である。

#### 2 平成26年度の取り組み実績

##### (1) 「教職実践インターンシップ」実施への協力

4月24日に開催された研究科長・副研究科長と本部会の打ち合わせ会において本部会が教職実践インターンシップの実施に継続して協力することが確認され、研究科長から「インターンシップの在り方やモデルの構築」「試行に関わっていなかった実施校へのサポート」「教員志望ではない学生への対応」等の取組課題が提案された。これをふまえ、本部会では以下の取組を行った。

- ①年度当初の教職実践インターンシップ専門委員会に出席。
- ②インターンシップ実施校の教員・学生の現状と課題を把握するためのアンケート調査の実施、及び、その結果と改善の方向性を専門委員会へ提案（12月11日の反省会で報告・提案）。
- ③インターンシップ実施校からの依頼を受けて、オンデマンド研修を実施。
- ④インターンシップ実施校に対して近藤弘行委員が直接的なサポートを実施。

##### (2) インターンシップ実施校に対するオンデマンド研修の広報

昨年度より教職実践インターンシップを実施するすべての学校を対象にオンデマンド研修を行うこととなった。このことがまだ十分周知されていないと考え、5月29日に開催された「岡山市教育委員会との連携協力会議専門部会」、7月9日に開催された「岡山県教育委員会との連携協

力会議専門部会」において文書を配布の上、オンデマンド研修実施の手続きを周知した。

### **(3) 岡山市教育委員会・教職実践インターンシップ実施学校園との協働**

#### **① オンデマンド研修の実施**

- 三勲小学校：4月30日16:00～17:00 ESDに関する教員研修  
(教職実践講座：住野好久、ESD協同推進室：柴川弘子)
- 宇野小学校：10月20日15:30～17:00 国語科授業づくりに関する教員研修「説明的文章を読むことの学習指導の方向性」(教職実践講座：宮本浩治)
- 伊島幼稚園：10月20日14:30～17:00 伊島幼稚園公開保育での指導・助言  
(教職実践講座：住野好久)

#### **② 岡山市教育委員会との協働—ユネスコスクール推進事業—**

岡山市教育委員会の委託を受けて、岡山市内小・中学校のユネスコスクール申請とユネスコスクールのESD推進を支援した。研修への講師派遣と学生ボランティアの派遣が主な支援である。

- 岡山市「ユネスコスクール推進校連絡会研修会」5月15日 川田力(社会科教育)、柴川弘子(ESD協働推進室)
- 藤田中学校区「ESD地域連絡会」5月29日 川田力(社会科教育)、柴川弘子(ESD協働推進室)
- 福田中学校区「地域再発見スタンプラリー」7月26日学生ボランティア派遣(学部学生4名)
- 興除中学校区「教職員研修」8月1日 川田力(社会科教育)
- 津島小学校「教員研修」8月11日 住野好久(教職実践)
- 岡山市「ユネスコスクール推進校連絡会研修会」8月25日 住野好久(教職実践)、川田力(社会科教育)、柴川弘子・山本由実(ESD協働推進室)
- 御南小学校「教員研修」8月28日 川田力(社会科教育)
- 曾根小学校「教員研修」8月29日 川田力(社会科教育)
- 藤田中学校区「ESDフィールドワーク」10月3日 学生ボランティア派遣(学部学生17名)
- 岡山市「ユネスコスクール推進校連絡会研修会」1月27日 住野好久(教職実践)、川田力(社会科教育)
- 藤田中学校区「藤田地区ESD実践発表会」2月20日 川田力(社会科教育)、柴川弘子(ESD協働推進室)

### **(4) 倉敷市教育委員会・教職実践インターンシップ実施学校園との協働**

#### **① オンデマンド研修の実績**

- ハイパーQUテストに関する研修(庄中8月6日・倉敷第一中8月10日センター：稲田修一)
- 小学校理科の実験に関する研修(庄小8月28日：理科教育講座：宇野康司)

#### **② 講師のためのスキルアップセミナーの立案・実施**

○昨年度と同様に、倉敷市教育委員会と協働して、倉敷市立の学校に勤務する講師と岡山大学教育学研究科大学院生を対象に、授業づくりの基礎・基本の育成を図ることを目的とした「講師のためのスキルアップセミナー」をライフパーク倉敷・倉敷教育センターにて開催した。

第1回：6月14日「授業づくりの基礎・基本」

第2回：9月20日「魅力的な授業づくり」

第3回：1月10日「実践授業から学ぶ」

12名の申込者があり、3回参加した8名に修了書が交付された(修了率67%、前年比+15%)。

○「教育委員会との連携・協働による初任者研修支援プログラム開発事業」（通称：『授業力パワーアップセミナー』）担当者との意見交換

次年度の実施形態、事業終了後の実施（本学の支援の在り方）について意見交換を行った。

### ③ 教職実践インターンシップ担当委員会との意見交換

各講座教職実践インターンシップ担当教員によるデマンド聞き取りを促進することについて検討・意見交換を行った。

## （５）赤磐市教育委員会との協働

### ① 「教職実践インターンシップ」の事前活動を実施

赤磐市での教職実践インターンシップ実施に先だって、該当する学生を対象にインターンシップ実施校において事前活動を実施した。これによって学生は、自己課題を明確にすることができ、インターンシップに円滑に接続していくことができた。

### ② 学校行事（陸上記録会 10月15日・山陽小学校）運営への参画

陸上記録会の安全な実施・運営に向けた企画立案に大学教員（上村）が協力した。当日には学生8名が運営補助に参加し、学校行事運営の体験並びに安全管理の視点を学んだ。

## （６）岡山県教育委員会との協働—授業力パワーアップセミナー—

岡山県教育委員会と協議・協働して、岡山県下の公立小・中学校に勤務する初任期教員（教職に就いて5年目まで。養護教員、栄養教諭、講師を含む）を対象に、「演習形式により、授業づくりの基礎・基本等の育成を図る」ことを目的とした「授業力パワーアップセミナー」を、岡山大学教師教育開発センター東山ランチにて開催した。

- ・第1回：6月21日（土）14:00～17:30「理想とする授業の探求」
- ・第2回：8月2日（土）14:00～17:30「授業づくりの基礎・基本」
- ・第3回：8月23日（土）14:00～17:30「魅力的な授業づくり」
- ・第4回：1月24日（土）10:00～16:00「実践授業から学ぶ」

初任期の教員40名（小学校34名、中学校6名）に加え、オブザーバーとして指導教員、管理職等12名の参加をいただいた。修了者は24名であった。

## 3 今後の方向性

### （１）オンデマンド研修の量的拡大に向けて

今年度、オンデマンド研修の申請手順を明確にし、岡山県・市教育委員会との連携協力会議専門部会・教職実践インターンシップ反省会において説明するなど、オンデマンド研修の呼びかけを積極的に行った。その結果、伊島幼稚園が初めて実施するなど、昨年度よりも実施件数が増加した。が、まだ十分ではない。来年度は、インターンシップ担当学部教員へ周知徹底し、インターンシップ実施校に対して働きかけていただくようにしたい。

### （２）教職実践インターンシップについて

「教職実践インターンシップ」の質的向上に向けた支援を継続する。特に、インターンシップ実施校の教員・学生の現状と課題を把握するためのアンケート調査を継続実施し、今年度と同様にその結果と改善の方向性を専門委員会及びインターンシップ実施校へ提案する。

さらに、オンデマンド研修と「教職実践インターンシップ」の連動についてモデル的な実施事例をつくり出すことで、インターンシップの質的向上に貢献する。

### (3) 教育委員会との協働について

今年度は、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会に加えて、岡山県教育委員会とも協働事業（「授業力パワーアップセミナー」）に取り組んだ。個々の学校でのオンデマンド研修を補完するものとして教育委員会との協働事業を継続・発展させていきたい。

#### <資料>

岡山大学と岡山県教育委員会との連携協力会議専門部会（2014/07/09）報告資料  
教員の資質向上に寄与する「大学と学校・教育委員会の協働の実現」事業  
－ オンデマンド研修事業 －

#### 1. オンデマンド研修事業とは

岡山大学教育学部と教師教育開発センターは、平成 23～27 年度に「教員の資質向上に寄与する『大学と学校・教育委員会の協働』の実現－ 学校教育改善との連動で教員養成教育を進化させる－ 」というプロジェクト（略称「先進的教員養成プロジェクト」）に取り組んでいる。この事業の 1 つとして、大学と学校・教育委員会が協働し、学生が学校において継続的にインターンシップ実習に取り組むことで教育実践力を高める教員養成教育の改善と、学校・教育委員会の求める研究・研修に教育学部教員が貢献することで学校教育の充実・発展に貢献するオンデマンド研修とを結びつけて実施するのが本事業である。

学部の担当教員は、住野好久、東條光彦、川田力、熊谷慎之輔、金川舞貴子、上村弘子、センターの担当教員は、高旗浩志、稲田修一、三島知剛、後藤大輔、近藤弘行、計 11 名である。

#### 2. 今年度の協働事業

##### (1) 教職実践インターンシップを実施するすべての学校園でオンデマンド研修を実施

##### ①全インターンシップ実施校でオンデマンド研修の実施

学校が抱える諸課題に対し、インターンシップ学生と大学教員とが参画し、学校教員とともに取り組む。それによって、学校は課題が改善され、教員の資質向上がもたらされる。大学は学生の実習経験が豊かになり、大学教員の現場理解が深まる。

##### ②実施手続き

- 1) インターンシップ実施校から担当教員またはセンター窓口（後藤）に依頼  
・課題の改善に向けて、インターンシップ学生も参画できるような課題が望ましい。
- 2) 本事業部門が研修の講師・助言者候補を選び、研究科長名で教員に依頼  
・専門性の配慮や日程調整をして。
- 3) 講師・助言をする教員と実施校とで打ち合わせし、オンデマンド研修実施  
・実施に向けては、実施校と大学教員との間で打ち合わせる。

##### ③講師謝金等は原則発生しないものとする。

##### (2) 岡山市教育委員会との協働事業－ ユネスコスクール推進事業－

岡山市教育委員会の委託を受けて、岡山市内小・中学校のユネスコスクール申請と ESD の推進を、ESD 協働推進室と協働して支援する。

##### (3) 倉敷市教育委員会との協働事業

倉敷市教育委員会、倉敷教育センターとの連携により、「講師のためのスキルアップセミナー（全 3 回）」を実施するとともに、オンデマンド研修対象校における生徒指導資料の活用および研修の要望把握を行い、その実施を推進する。

##### (4) 赤磐市教育委員会との協働事業

- ・平成 26 年度教職実践インターンシップ実施にあたっては、配当校教員に加えて、赤磐市教育委員会指導主事による活動参観および面談等を通じて指導をいただく。活動および指導の状況については、随時担当教員と打ち合わせる。
- ・平成 27 年度の教職実践インターンシップの事前学習となるように、3 年次学生をボランティアとして配当し、継続的に児童生徒および学校と関わるようにする。

文責：岡山大学大学院教育学研究科 住野 好久